

＝武蔵野台地の尾根と谷を越える＝

日 時:2014年6月5日(水) 天候:曇り時々小雨 19000歩 約12km

集 合:JR上野駅正面玄関口 10時

コース:上野駅→上野大仏→暗闇坂→東大三四郎池→伊賀坂・御殿坂→小石川植物園→湯立坂・茗荷坂→林泉寺
→小日向最高地点→鼠坂・鳥尾坂→江戸川公園→東京メトロ江戸川橋駅(解散)

参加者:講師＝山岡光治氏

河野(L)・吉越・神谷・青松秀・濱崎和・佐藤繁・斉藤優・小山文・小山美・森川・井内・山川・横田・小島 総計15名

♪あゝ、上野駅♪・・・我々の世代には懐かしいこの歌、そして希望と不安を胸に若者たちが初めて踏む東京の土。かつて“北の玄関”と言われたその上野駅も、今やその役目を東京駅に譲ってしまった感があるが、駅舎はリニューアルされ集合場の正面玄関口が見つからない人も。歩き始めてすぐポツポツと雨が降り出したが、まずは傘を必要とするほどでもなかった。今日は武蔵野台地末端の上野から本郷台を通り江戸川橋駅まで、坂を巡りながらそれらの由来を目で見、足で確かめつつ、傘の出番は忙しかったものの、雨に濡れた木々の緑が目にも沁みた一日だった。

<写真&文 小島>



雨の三四郎池(育徳園心字池)で。足元には鴨がお出迎え! エサをくれると勘違いしたのカモ?

※東京大学本郷キャンパス内にある加賀藩前田家上屋敷庭園の名残で、池の形が「心」の字をかたどっていて、正式名称は「育徳園心字池」だが、夏目漱石の小説「三四郎」以来、「三四郎池」の名で親しまれている。



ここが集合場所の上野駅正面玄関口。



全員集合することが出来ました。



上野駅の顔はやはりここでしょう。



♪あゝ上野駅♪の歌碑。



“懐かしい”(?)ガード下を通過して...



上野公園入口階段下で。



園内にはアジアからの団体さんも見受けられます。



山岡先生より今日のコース説明。



いつもの“秘密兵器”？



ここがすり鉢山最高地点でした。



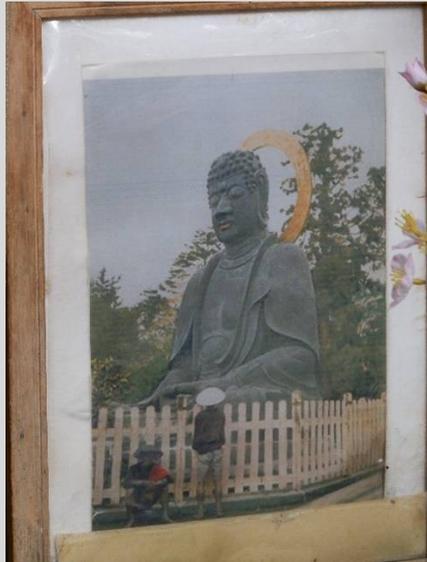
もう一つの小山「大仏山」に上ります。



ここには上野大仏があります。



顔のレリーフですが...



左右に置かれた大仏の古写真ですが微妙に違います。(光背が消されてる?)



その横にはパゴダ薬師堂も。



東照宮鳥居下にある凡号水準点。



鷗外温泉?とは...



施設内に森鷗外の旧居跡があります。



谷田川(藍染川)跡の路地。



通りの名にも雰囲気...



雨にはアジサイが似合います。



竹久夢二美術館ですが前を通るだけ。



塀には華宵のこんな絵も。



傍には東大医学部戦没同窓生之碑。



この地で没した挿絵画家高島華宵の碑です。



ここはあの弥生式土器命名の地でした。



ここから東大に。裏口入学？



いきなり視界に入る重厚な建物。



広大な構内は都営バスも発着します。



雨で滑りそうな石段を下ると...



三四郎池。静かな佇まいです。



池を後に...



ここは何処？方向感覚がなくなりそう。



いまだ古い建物が健在ですが曇り気があります。



雨なので昼食は構内で。学食組とベンチ組に別れました。



東大の象徴赤門。歴史を感じさせます。



本郷通りを歩く一行。



加賀の涼菓「氷室」の店。



樋口一葉ゆかりの地です。



浄真寺。一葉はこの隣に5年間住んでいました。



これらの石塔や石仏等も目にしていたのでは...





雨に濡れた路傍の花。



石川啄木ゆかりの蓋平館別荘跡の太栄館。



横には記念碑が。



新坂。かつてこの付近には高級下宿が多かったので、文人達もこの坂を行き来したことでしょう。



階段と坂道が足にこたえます。



小石川小十人町・番屋の跡。



角地に椎木稲荷が。



伊賀坂。伊賀者同心衆の組屋敷があったそうです。



“忍者”はいずこに？ それよりくたびれた…



小石川植物園。あと5人で団体割引適用だったのに・・・



入り口にて園内で採れた梅を貰いました。



園内は自由散策です。



こんな案内板が・・・行ってみることに。



あのメンデルのブドウの分株。



小さな棚ですが実っている時期にまた来たいものです。

東京大学大学院理学系研究科附属植物園は、一般には「小石川植物園」の名で呼ばれ親しまれており、植物学の研究・教育を目的とする東京大学の教育実習施設。この植物園は日本でもっとも古い植物園であるだけでなく、世界でも有数の歴史を持つ植物園の一つで、約 320 年前の貞享元年(1684)に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」がこの植物園の遠い前身で、明治 10 年、東京大学が設立された直後に附属植物園となり一般にも公開されてきた。(同園 HP より)



ニュートンのリンゴ。生家にあったリンゴの枝を接木したもの。



もう青い実がついていました。



イロハモミジのトンネルを歩きます。



秋は一面の紅葉に彩られることでしょう。



園内の大クスノキ。二本の巨大木に包まれると人間なんて小さい小さい！



先生の説明も一段と熱が入ります。



鏡のような水面に木々の緑が影を落として・・・



菖蒲田。曲線を描く流れがいい感じです。



色とりどりの花菖蒲。良く手入れされています。



ツツジもまだ見頃でした。



ここで小休止。ああ、疲れた！



日本庭園で旧東京医学校本館をバックに。まだ若い方も、そうでない方も・・・皆さんお疲れ様です！



今は総合研究博物館に。



植物園出口。うまく出られるかな？



傍の簸川(ひかわ)神社。



蕎麦屋？いえトイレでした。



筑波大&放送大。



林泉寺縛られ地蔵。心当たりが？



小日向2丁目の最高地点。(31m)



ここから鼠坂を下ります。



振り返ると結構な急坂でした。



音羽に出たのでついでにここに。



いました。先代です。



有料なのでパスします！



ここから江戸川橋駅に向かいます。



3羽のハトがお見送り？何だかへビのようにも...

※今日は幸いにも小雨程度で済み、むしろ涼しく快適な一日でした。距離は約12kmと長くはなかったものの、低いながらもアップダウンの繰り返りで結構疲れました。都内をこれほど細かく歩いたことがなかったが、新しい発見と意外な場所に立つ事が出来たのは、山岡先生の豊富なデータのお蔭だと思います。有難うございました。なお、江戸川橋駅で一旦解散後は飯田橋駅まで歩きましたが、私が「すぐそこ」と言ったせいで、皆さんを2km弱歩かせてしまいました。(確信犯?)